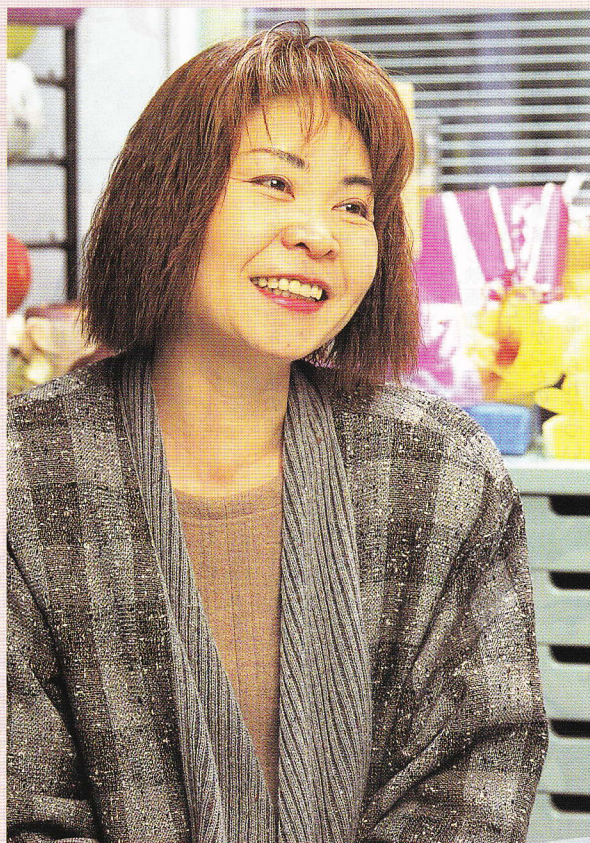


内田 三紗子さん

ラッピング
コーディネーター

花婿への1番のプレゼントは花嫁。
その花嫁を包むこともできるんですよ。



PROFILE

1949年、北九州市生まれ。'90年にラッピングコーディネーター・五味崇里氏に師事。'93年には「プレジェ レスパス」を設立、カルチャースタジオ「プレジェ」開校。その2年後には、ショップ「ラタリエ プレジェ」オープンと同時に、テレビ東京「TVチャンピオン」第2回ラッピング王選手権で優勝。'97年からはブライダルプロデュース「プレジェ」を開業。

“なにかの形で自分を表現したい”。誰もがそう思ったことはあるはず。でも、その手段をなかなか見つけることができずに、時間だけが過ぎていってしまいう場合も多い。ラッピングのショップとカルチャースタジオを経営している内田三紗子さんもその1人だった。

「結婚をする前から、物を作り出して自分を表現できる仕事をしたいとは思っていたんです。ようやく子育てが一段落して、“自分のために何かをやりたい”と考えてみたとき、何もなかったんですね。そのときふと、結婚前のクリスマスに感動を覚えたウィンドウ・ディスプレイのことを思い出したんです。ラッピングされたものがすごく素敵に飾ってあったんですね。それでラッピングがどういう世界なのかというのを勉強したいなと思ったんです」。

そう思い立ったのは今から9年前のこと。それからすぐに、東京の第一線で活躍しているラッピングコーディネーターの先生に師事し、勉強を始めた。「ラッピングというのは、必ず（贈る）相手がいる。どんなデザインにしてもどんな色使いにすれば相手が喜んでくださるかが全てなんです。それを表現するには、私自身が持っている好みの色だけでは絶対的に少ないんです」。

ラッピングの勉強を始めてすぐにそのことに気が付き、カラーとデザインについても学び始める。

「2年半経った頃、先生に“もう教えることはないから、あとは自分でやらないか”と言っていたいたんです。そこで、私自身がラッピングの勉強をしたいと思ったとき北海道にそういう場所がなかったものから、それなら私がそういうものを作りたいな”と思いまして、教室を作ったんです」。

そうして'93年にカルチャースタジオ「プレジェ」を開校、道内初のラッピングスクールとして注目されるようになった。

「包めないものはありません」

ラッピングにマニュアルはない。包めないものはないという基本方針で、'95年にはショップもオープンした。これまでにラッピングしたなかで、1番大きなものはなんとダンブとか。

「女性の運転手の方がダンブの装飾のコンテストに参加したいということでいらしたんです。外を走るものなので全体を包んでしまつことはできませんが、ビニール製のリボンなどを使って、走るとそれが風になびくという女性らしいデコレーションにしました。でもトラックはいろんな場所に行くので、1ヵ月後には見るも無残になっていましたけど（笑）」。

魅力的なブライダル・コーディネーター

現在はブライダルのプロデュースもしている。こちらも「空間のデコレーション」という発想で、ペーパーとリボンを使って飾花や引き出物、両親への贈呈用花束、ブーケなど、さまざまなものを演出する。そのなかでも特に魅力的なのが「花嫁のラッピング」。シンプルで純白のドレスを着た花嫁を、ベーパーとリボンで見事にデコレートし、カクテルドレスを思わせる華やかな衣裳に変身させる。

「結婚式で1番のプレゼントは、花婿への花嫁さんご自身のプレゼントですよ。そのプレゼントをラッピングするという発想なんです。1種のパフォーマンスですね。通常のお色直しに費やす時間を1回分だけいただいて、披露宴にいらした方々にも楽しんでいただくんですよ」。

Q&A

PERSONAL

- 今、一番楽しみにしていることは何ですか。
・制作中のラッピングの本が完成すること。
※編集部注
「ラッピング・ファクトリー」（ダイヤモンド社／価格未定／'00年1月31日発売予定）。ラッピングの基礎やカラーコーディネート、ブライダルウェディングでの花嫁のラッピングまで、さまざまな面でのラッピングについて、写真入りでわかりやすく説明している。
- どんな時が一番幸せですか。
・作品を完成させた時。
- もし一度だけ戻れるとしたら、いつの時代に戻りたいですか？
・高校
- 生まれ変わったら男性と女性、どちらになりたいですか？
・女性
- 旅行するならどこに行きたいですか。
・国内→京都（以前見た紅葉をもう一度見たい）
・海外→イタリア（美術館めぐりをしたい）
- 好きな映画、本、曲は、誰の何ですか。
・映画→「フォレスト・ガンプ」
・本→ロマン・ローラン「魅せられた魂」
・曲→B'z「LOVE PHANTOM」
- あなたの夢は何ですか。
・自社ビルを建てること。
- 休日は何をして過ごすことが多いですか？
・好きな音楽を聴く。ショッピングをする。温泉に行く。

GOURMET

- 「お気に入りのあの店・あのメニュー」というものがあれば教えてください。
・クラブチャイナの「ディナーセット」3500円。（手軽に本格的な中華が楽しめる）
※編集部注
区札幌市豊平区月寒東1-3-1-18
☎011・856・5718
※四川料理と上海料理をメインに、魚介類を使ったおいしい料理が豊富。ワインも多数そろっている。
・プレヴェール（落ち着いた雰囲気でお料理もおいしい）
※編集部注
区札幌市中央区大通西14
デラファーストビル4F
☎011・261・1105
※モリエールの姉妹店。オープンカフェ風の店内で、大きな窓から大通公園を眺められる。フランスの片田舎の家庭料理のような、心のこもったおいしいフレンチが食べられる。
- 行ってみたい飲食店があれば教えてください。
・モリエール
※編集部注
区札幌市中央区宮ヶ丘2-1-1
☎011・631・3155
※大きなガラス窓の向うに円山公園の緑を眺めながら、おなじみ中道シェフが作る上品なフレンチが楽しめる。
- ・ふしみグリ工（大人の雰囲気夜景がステキなお店）
※編集部注
区札幌市中央区伏見2（藻岩山麓通り沿い）
☎011・533・2432
※市内を一望するロケーションと本格的な地中海料理が楽しめる、カップルに人気の店。

■「ラタリエ プレジェ」

区札幌市豊平区月寒東5-18-16
☎011・852・2210

■「プレジェ」

区札幌市豊平区月寒東5-18-23
☎011・852・9960

※カルチャースタジオではクリスマスやお正月に向けてのラッピング単発講座を開講。クリスマスは11月30日（火）、お正月は12月16日（木）・21日（火）。いずれも予約受付中、1回2000円（税別、材料費別途）。ブライダル・プロデュースの相談も随時受けている。

ギョララッピングを習いたい。そんな内田さんの小さな好奇心は、9年経った今では、人が人にプレゼントをするあらゆる瞬間をより印象的に演出してくれる、大きな夢へと成長した。